

徳島大学自動車部 え、自動車部って

社会に通用する人材に

車に乗るのが好き、車をいじるのが好き、と聞けばマニアックなオタク(失礼)と思ってしまうがちですが、代表の宮内さんが「主将」と呼ばれていることでもわかるように、なんと徳大の自動車部は体育会系なのです。と言ってもみなさんさわやかで真面目な感じの人ばかり。道具類の片づけや手入れだけでなく、部室の清掃なども行き届いています。



主将
工学部機械工学科2年
宮内 良貴 みやうち よしき

社会に通用する規範を持った人材になれるように、規律正しい部活や生活に心がけています」

8月に鈴鹿サーキットで開催される「全日本学生ジムカーナ大会」は3年生の引退試合となりOBになります。この後に主将の交代をしますから、この8月を実質のスタートとして、1年生2年生の1年間が始まります。それでは自動車部の主要な年間スケジュールを紹介します。

充実した年間スケジュール

まず11月にはOBも交えて、下半期の定例総会。12月には中四国学生自動車連盟の定例総会。3月には1年生が企画して遠征が行われます。片道500キロ以上のルートを組み、



体育会系?

今年は「全塗装」でした。自動車部の所有する車はホンダのCity。車体が軽く、スピードが出るからだそうです。このCityを今年は全塗装したわけです。

4月には新入生の勧誘や歓迎ドライブ、歓迎パーベキュー大会などがあります。体育会系だとは知らずに入ってきて、リタイヤする人や逆に規律正しい活動にひかれる人もいます。しかし残るのはやはり乗るのが好きな人、機械いじりが好きな人です。

5月には「中四国学生ジムカーナ選手権大会」があります。今年は20をこえるチームが参加。総合で5位という成績を残しました。

6月には上半期の定例総会。7月にはインカレ。8月の合宿と続きます。合宿は大学に近いお寺を借りて朝は運転技術を向上させるための練習をします。昼間は解散して、夜



エンジンルームの様子。



このほかにも主将や副将が参加するリーダーズキャンプなど多忙ですが、充実した部活が展開されています。

また定例の部活として、毎週木曜日(午後5時から7時)と土曜日(午後1時から5時)と、月に一度、美郷村にある徳島カートランドでの練習があります。

モータースポーツが好き、メカが好きという方は見学大歓迎です。入部希望は部活が宮内さん(携帯090-0871-0006)まで。

埋蔵文化財

幕末期の庭園遺構の発見

新蔵地域国際交流プラザ地点の発掘調査

埋蔵文化財調査室
中原 計

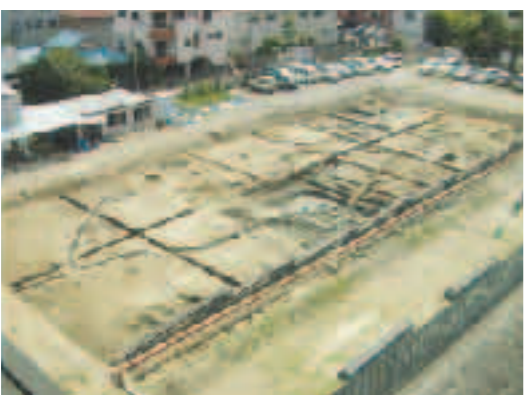


写真1

徳島市新蔵町は江戸時代の徳島城下町の一角にあたります。徳島城下町は6つの島(徳島、寺島、福島、住吉島、常三島、出来島)と6つの地区(助任、大岡、富田、内町、新町、佐古)を中心として建設されました。そのなかでも、新蔵町のある徳島地区は城郭・御殿と西側に接する中心地区であり、家老や中老といった上級武家屋敷が集中する地区でした。絵図や記録から、今回の調査地点も上級武家屋敷地に位置することが分かっています。

発掘調査の目的は、屋敷地を区切る境界をみつけること、絵図などにはほとんど表されていない屋敷地内の利用状況の実態を把握することでした。今回の調査成果は、今後の資料の整理に負つていくところが大きいのですが、現段階で報告できるもの

の一つとして、江戸時代の終わりから明治時代初期の庭園遺構(写真1)が見つかったことが挙げられます。

庭園遺構は杭列とその間に渡された竹によって囲われた池、その中に設けられた中島、およびそれにつながる石組み溝によって構成されています(写真2)。これらが造られた時期としては19世紀半ばが考えられます。この時期の絵図から、調査区にあたる場所には、当時、蜂須賀家と片山家の屋敷地がありました。庭園遺構の主体である池状遺構は蜂須賀家の屋敷地内に存在していることから、この庭園遺構は蜂須賀家のものであると考えられます。ただ、池から西側に伸びる溝は隣の片山家の屋敷地内を通っています。



写真2

様々な生活用水として利用するためであったと考えられます。

庭園遺構には幾度かの変更が加えられています。変更された時期は、出土遺物から19世紀後半ごろと考えられます。蜂須賀家では、元々一本であった溝から枝分かれをさせ、南側にも溝を付け加えています。片山家では、池から西側に水を流すための溝は徐々に南寄りに改築が行われており、遂には、池にはつなげなくなっています。そのため、両家でその



写真3

扱いが違っていたことが分かります。

また、庭園遺構が埋められる際には、池の中には単に土を入れるのではなく、大量の瓦や陶磁器などの遺物が捨てられていました(写真3)。徳島城下町では、池状遺構と中島、溝とが一体となった庭園遺構が良好なかたちで発見されたのは初めてです。今後、出土した遺物を整理、検討することで、さらに様々な成果が明らかになっていくと考えられます。